

○妊婦健康診査（妊婦健康診査事業）

1 事業の概要

この事業は、妊婦の健康の保持・増進を図るため、妊婦に対する健康診査として健康状態の把握、検査計測、保健指導とともに、妊娠期間中に適時必要な医学的検査を実施するもの。

2 進捗状況（計画数値と実績値の比較）

		平成27年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
利用人数	①需要量	5,184 人	5,385 人	201 人	382,859,000 円	378,010,000 円
	②確保量	5,184 人	5,385 人	201 人		
	②-①	0 人	0 人			

3 計画数値と実績値に差が生じた理由

① 量の見込みと実績値

妊娠の届出数が増加したため。

② 確保量と実績値

妊娠の届出数の増加に伴い、妊婦健康診査受診者も増加したため。

4 今後の対応

平成28年度から、杉並区独自で行っていた妊婦子宮頸がん検診と妊婦HIV抗体検査を、東京都内区市町村の妊婦健康診査の項目に追加されたことに伴い、今後、妊婦健康診査の受診件数の増が見込まれる。

〇すこやか赤ちゃん訪問(乳児家庭全戸訪問事業)

1 事業の概要

この事業は、生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を保健センターの保健師等が訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握及び相談・助言などを行うもの。

2 進捗状況(計画数値と実績値の比較)

		平成27年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
利用人数	①需要量	4,345 人	4,595 人	250 人	25,396,000 円	25,620,000 円
	②確保量	4,345 人	4,595 人	250 人		
	②-①	0 人	0 人			

3 計画数値と実績値に差が生じた理由

① 量の見込みと実績値

出生数が増加したため。

② 確保量と実績値

出生数の増加に伴い、赤ちゃん訪問数も増加したため。

4 今後の対応

平成27年度の訪問率98.6%となっている。今後も引き続き対象者全員の訪問を目指して実施していく。

○利用者支援（利用者支援事業）

1 事業の概要

この事業は、身近な地域で就学前の教育・保育や各種の子育て支援事業の利用相談・情報提供等を実施するとともに、関係機関等との連絡調整を行うもの。

2 進捗状況（計画数値と実績値の比較）

		平成27年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
施設数	①需要量	5 か所	5 か所	0 か所	5,031,000 円	4,130,000 円
	②確保量	5 か所	5 か所	0 か所		
	②-①	0 か所	0 か所			

3 計画数値と実績値に差が生じた理由

① 量の見込みと実績値

② 確保量と実績値

4 今後の対応

5つの保健センター内に設置された子どもセンターで行っている利用者支援事業に加え、新たな実施施設として、施設再編整備計画に基づく、児童館施設を活用した子ども・子育てプラザを整備する。また今後も引き続き、母子手帳交付時に子育て応援券（ゆりかご券）などの配布を行い、同時に相談に応じるなど産まれる前からの利用者支援も5つの保健センターで行う。

○乳幼児親子のつどいの場（地域子育て支援拠点事業）

1 事業の概要

この事業は、乳幼児とその保護者が相互に交流する場所を開設し、親子遊びや子育てについての相談・情報提供などを行うもの。

2 進捗状況（計画数値と実績値の比較）

		平成27年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
利用人数	①需要量	425,280 人	438,866 人	13,586 人	36,795,000 円	36,370,000 円
	②確保量	440,510 人	440,510 人	0 人		
	②-①	15,230 人	1,644 人			
つどいの広場	①需要量	5 か所	5 か所	0 か所		
	②確保量	5 か所	5 か所	0 か所		
	②-①	0 か所	0 か所			
ゆうキッズ	①需要量	41 か所	41 か所	0 か所		
	②確保量	41 か所	41 か所	0 か所		
	②-①	0 か所	0 か所			

3 計画数値と実績値に差が生じた理由

① 量の見込みと実績値

児童数が増加したため。

② 確保量と実績値

児童数の増加や新規事業により、利用者数は増加したが、ニーズには対応できた。

4 今後の対応

児童数の増加に伴い、乳幼児の居場所のニーズの高まりが予想されるため、施設の充実を図るための検討を行う。また、施設再編整備計画に基づき、子ども・子育てプラザにおいて、地域子育て支援拠点事業を実施する。

○乳幼児の一時預かり（一時預かり事業）

1 事業の概要

この事業は、幼稚園の場合は在園児を対象に当該保護者のリフレッシュ等のために一時的に児童を預かり、地域における一時預かり事業として、ひととき保育・一時保育（子育てサポートセンター）・ファミリー・サポート・センターにおいて、保護者に事情（病気・冠婚葬祭・リフレッシュ等）により、一時的に家庭での保育が困難となった乳幼児を一時的に預かるもの。

2 進捗状況（計画数値と実績値の比較）

		平成27年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
幼稚園 在園児 一時預かり	①需要量	94,956 人	153,824 人	58,868 人	都事業のため、区の費用負担はなし。	
	②確保量	146,000 人	153,824 人	7,824 人		
	②-①	51,044 人	0 人			
幼稚園 在園児 定時預かり	①需要量	31,815 人	36,369 人	4,554 人	47,289,000 円	42,870,000 円
	②確保量	50,820 人	36,369 人	-14,451 人		
	②-①	19,005 人	0 人			
ひととき 保育・ 一時保育	①需要量	67,507 人	35,456 人	-32,051 人	94,673,000 円	93,300,000 円
	②確保量	60,400 人	60,400 人	0 人		
	②-①	-7,107 人	24,944 人			
ファミ リ・サ ポート ・セ ンター	①需要量	6,000 人	4,638 人	-1,362 人	10,105,000 円	9,100,000 円
	②確保量	4,910 人	4,910 人	0 人		
	②-①	-1,090 人	272 人			

3 計画数値と実績値に差が生じた理由

① 量の見込みと実績値

- ・幼稚園については、実績値の増加については、利用者の需要が増加したため。
- ・ひととき保育・一時保育については、主に地域における一時預かりについては、利用を希望する施設や日時が合わず、実際に利用されないケースなどがあるため。
- ・ファミリー・サポート・センターについては、利用実績による。

② 確保量と実績値

幼稚園の確保量については、長時間預かりの実施に同意する幼稚園が増加しなかったため。

4 今後の対応

- ・幼稚園については、今後も長時間預かりの施設の確保を図る。
- ・地域における一時預かりについては、施設再編整備計画に基づき、「子ども・子育てプラザ」を整備する際に一時預かり事業を実施する。
- ・ファミリーサポートセンターについては、核家族化や女性の社会進出、共働き世帯の増加などの状況がさらに進む中、保育園だけでは対応できない部分を担うサービスとして、引き続きの安定的な運営を図る。

○延長保育(延長保育事業)

1 事業の概要

この事業は、保育の必要性の認定（2号・3号）を受け、保育所等を利用している乳幼児に対して、通常の利用時間の前後に当該保育所等での保育をおもなうもの。

2 進捗状況（計画数値と実績値の比較）

		平成27年度(4月実績)				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
利用人数	①需要量	1,159 人	800 人	-359 人	364,440,540 円	350,100,000 円
	②確保量	1,500 人	1,699 人	199 人		
	②-①	341 人	899 人			

3 計画数値と実績値に差が生じた理由

① 量の見込みと実績値

年々増加する保育所入所者数に比例して、延長保育利用者も大幅増を見込んだが、27年4月の実績は見込みの約7割弱にとどまった。しかし、過去の実績は平成24年度689人、25年度724人、26年度733人、27年度は800人と実績は着実に増加している。

② 確保量と実績値

確保量は計画値1500人に対し、実績値は1699人と大幅に上回った。

4 今後の対応

実績は量の見込みに対して7割弱だが、年々着実に増加しており、今後も需要の増加が見込まれる。

○病児保育(病児保育事業)

1 事業の概要

この事業は、保育所等に通う乳幼児が、病気や怪我により集団保育が困難で、かつ保護者が家庭で保育できない場合に、病院等に付設した専用スペースで一時的に保育を行うもの。

2 進捗状況(計画数値と実績値の比較)

		平成27年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
利用 人数	①需要量	3,862 人	1,955 人	-1,907 人	68,144,000 円	37,520,000 円
	②確保量	4,000 人	2,444 人	-1,556 人		
	②-①	138 人	489 人			

3 計画数値と実績値に差が生じた理由

① 量の見込みと実績値

平成27年度中に新設した施設は、平成28年3月と年度末の開始であったこともあり、当初計画より1,907人の減となった。

② 確保量と実績値

平成27年度に新設した施設は、平成28年3月開始のため、当初計画より下回った。

4 今後の対応

平成27年度に新規で1か所、病児保育事業を開始した。現行計画で示されているとおり、平成31年度にさらにもう1か所増設する。(需要が高く、予約出来ない実態が、発生している状況があるため。)

○小学生対象のファミリー・サポート・センター(子育て援助活動支援事業)

1 事業の概要

この事業は、子育て中の保護者を対象に、放課後や通院等の際の児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と、援助を行うことを希望する者との相互援助活動を行うもの。

2 進捗状況（計画数値と実績値の比較）

		平成27年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
利用人数	①需要量	5,799 人	2,052 人	-3,747 人	4,114,000 円	3,900,000 円
	②確保量	3,700 人	3,700 人	0 人		
	②-①	-2,099 人	1,648 人			

3 計画数値と実績値に差が生じた理由

① 量の見込みと実績値

利用実績による。

② 確保量と実績値

4 今後の対応

利用状況等の推移を踏まえ、援助活動を行う協力会員の増員を図る。

○学童クラブ(放課後児童健全育成事業)

1 事業の概要

この事業は、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校就学中の児童に対し、放課後や長期休業中における適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成を図るもの。

2 進捗状況（計画数値と実績値の比較）

（数値の基準日：平成28年4月1日現在）

		平成28年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
①需要量	1～4年生	3,934 人	4,025 人	91 人	303,559,000 円	298,650,000 円
	5・6年生	224 人	90 人	-134 人		
	計	4,158 人	4,115 人	-43 人		
②確保量	区学童クラブ	4,330 人	4,370 人	40 人		
	民間学童クラブ	85 人	85 人	0 人		
	計	4,415 人	4,455 人	40 人		
②-①		257 人	340 人			

3 計画数値と実績値に差が生じた理由

① 量の見込みと実績値

計画数値と大きく乖離しない実績値となった。

② 確保量と実績値

実績値が計画数値を上回ったのは、局所的な学童クラブ需要に応じて確保量を整備したため。ただし、地域によっては、学童クラブ入会希望者の需要が確保量を超えているところがあり、待機児童が存在する。

4 今後の対応

今後も計画的に学童クラブ需要に対応した育成スペースの確保と事業の充実を図る。

※この事業の計画数値及び実績数値については、各年4月1日を基準日としており、27年4月1日現在の数値を使用しても27年度中の一年間の点検・評価は行えないため、28年4月1日現在（28年度）の数値を使用した。

○子どもショートステイ(子育て短期支援事業)

1 事業の概要

この事業は、保護者の疾病等の理由により過程で養育を受けることが一時的に困難となった児童を対象に、児童養護施設などで必要な保護を行うもの。

2 進捗状況（計画数値と実績値の比較）

		平成27年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
利用人数	①需要量	3,144 人	820 人	-2,324 人	13,366,000 円	11,720,000 円
	②確保量	2,920 人	980 人	-1,940 人		
	②-①	-224 人	160 人			

2 計画数値と実績値に差が生じた理由

① 量の見込みと実績値

使いたいという需要はあるが、実際に必要な状況が生まれず、需要が顕在化しなかったため、計画数値との乖離が生じた。予算額は、計画数値に対するものではなく、これまでの実績値をもとに計上しているため、1000人程度を想定したものとなっている。実績が伸び、予算の不足が生じる場合には予算増額を検討する。

② 確保量と実績値

使いたいという需要はあるが、実際に必要な状況が生まれず、需要が顕在化しなかったため、計画数値との乖離が生じたが、実際のニーズには対応できた。

3 今後の対応

年々需要は増加傾向となっており、今後のさらなる需要の増加に対応するため、新たな施設の開設に向けて検討する。

○要保護児童等の支援のための事業(養育訪問支援事業等)

1 事業の概要

この事業は、養育支援が特に必要な家庭を訪問し、養育に関する相談・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保するもの。

2 進捗状況(計画数値と実績値の比較)

		平成27年度				
		計画数値	実績値	差	計画実施にかかる財源の確保状況	
					予算額	決算見込額
訪問人数	①需要量	4,884 人	6,721 人	1,837 人	12,477,000 円	6,510,000 円
	②確保量	4,884 人	6,721 人	1,837 人		
	②-①	0 人	0 人			

3 計画数値と実績値に差が生じた理由

① 量の見込みと実績値

支援対象者が増加したため。

② 確保量と実績値

支援対象者の増加により、訪問者数も増加した。

4 今後の対応

支援対象者の増加と家庭状況の多様化をふまえて、より適切な事業展開をするため、運用方法の見直しを行う。